

第一部事前会議 「ロータリー財団部門」

■ 出席者

カウンセラー 中島 治一郎
カウンセラー補佐 岩本 行弘
GSE委員長 坂本 順一

和歌山 坂本 順一
和歌山 東前田 成蔵
和歌山 南橋本 中美
和歌山 東南山田 剛弘
和歌山 西稲田 武彦
和歌山 北初田 隆生
和歌山 城南浦口 英尚
和歌山 中太平 洋和
和歌山 アゼリア 欠席



吉田S.A.Aの開会宣言に続き、地区役員の紹介。岩本カウンセラー補佐が進行役となり会議を進行。最初に中島カウンセラーの挨拶。

当地区のR財団への寄付は、一人当たりの金額では昨年度は日本で第2位、世界では39位であった（今までは常にベスト10に入っていたが）。当地区ではその金額や順位を競うというのではなくR財団が担当する多くの有用なプログラムの遂行上多額のお金が必要であるので寄付願いたいというお願いの仕方をしている。その趣旨を十分にご理解いただき財団へのご協力に対する呼びかけにお応えいただきたい。

続いて岩本カウンセラー補佐よりR財団のプログラム、特に「国際親善奨学金」「研究グループ交換プログラム（GSE）」「マッチング・グラント」について説明があった。

国際親善奨学金

この地区では2009年～10年の国際親善奨学生の募集をこの進行年度中に行わなければならない。来年早々から募集を始める予定。①1学年度の国際親善奨学生 ②マルチ・イヤー国際親善奨学生 ③文化研修のための国際親善奨学生（3ヵ月と6ヵ月の2種類）の3種類の奨学生を募集する。

最近の傾向として応募学生が少なくなっている。原因としては不明であるが経済的なこともあるかも知れないが、米国でのテロル以来の世情不安などに起因しているかと思われる。昨年度も応募者が9人、採用が8人（10年ほど前の4分の1以下）であった。

渡航時に20歳以上の奨学生を募集するので、現在既に大学に入学している人が最年少。社会人も勿論可能であるが、将来にわたる長期的な国際親善という意味から考えると出来るだけ若い人を募集したい。蛇足ながらロータリアンの家族は応募できない。

募集する際に最も重視するのは語学力。TOEFL 240点以上の力が必要。

GSE（坂本委員長より説明）

今年度は英国の1150地区（ウエールズ）との交換が決まっており、10月6日から11月3日まで当地区から派遣、受入は2008年3月29日から4月27日まで。当地区はIM2・4・6・8組で受け入れることになっているが地区大会が行われる時に3組で4日程度受け入れる。

本日のメールで訪問団の名簿が届いた。団長・スティーブ（銀行役員）、団員・ジェイムス（警察官）、サラ（病院の総務事務関係）、アイシン（刑務所勤務）、ケリス（環境問題の研究員）。

マッチング・グラント

R財団はすべて寄附金によって運営されている。その寄附金は大きく3種類に分類される。

①年次寄付 ②恒久基金への寄付 ③使途指定寄付。③の使途指定寄付の中にマッチング・グラントがある。2カ国以上にあるロータリークラブが協力し合い、それを補うのがマッチング・グラント。対象になるプロジェクトの規模は1万ドル以上。通常は3倍のところをDDFを上手く利用すれば資金を4倍に活用できる。

さらに、財団寄付の説明

①年次寄付は財団のプログラムを継続させるために毎年続けている寄付。3年間運用されて50%はDDF（地区財団活動資金）として、残りの50%はWF（国際財団活動資金）として活用される。

②恒久基金寄付は財団基金として積み立て、その運営金の収益のみが使われる。③使途指定寄付はポリオ・プラスなどのように使途を指定した寄付。《これら寄附金の流れは別添資料（ロータリー財団への寄附金の行方）参照。》11月号の「ロータリーの友」に「ロータリー財団最新資料」という記事が掲載される。そこに詳細にR財団の寄附金につき記載があるので活用願いたい。

税制上、R財団の教育的プログラムに一括20万円以上の寄付をすれば優遇措置がある。この措置については国際ロータリー日本事務局に十分に確認していただきたい。また、「日本財団（仮称）」を設立して一般寄付についても米山奨学金と同様の措置を図れるように準備中。

質疑応答 南RC 2640地区で受け入れている学校はどこか？

地区委員 財団の奨学生は大学、大学院に来る人は稀。語学学校を希望する人が多い。当地区に希望する大学が少ないという事情もある。ICUでは平均毎年7~8人受け入れている。そのうち1人は2640地区がスポンサーになっている。

東RC R財団の寄付の使途の具体的内容についての報告書は各クラブに配布されているのか？

地区委員 年次報告書を各クラブに配布している。但し、詳細までの報告は困難であるが。

東南RC GSEの受入の窓口はどの委員会がすべきか？

地区委員 GSEのプログラムは財団であるが、財団は国際奉仕の一環。全員で一致協力していただきたい。

東南RC やはり財団寄附金の使途について出来る限り詳細な説明をして頂きたい。

地区委員 このような機会を契機に十分に財団の寄附金の流れを理解していただき、クラブに持ち帰って説明をして欲しい。

城南RC WCS（マッチング・グラント）について知るためには？

地区委員 セミナー・ハンドブックを見ていただきたい。相手国は出来れば途上国を探してWCSを行って頂きたい。地区に事前に相談していただければ適切な方法を提案できる。

第一部事前会議 「米山奨学部門」

■ 出席者

カウンセラー補佐	松下光春	和歌山	根来孝夫
委員長	河合利晴	和歌山東	松田洪毅
		和歌山南	田村公之
		和歌山東南	山口幸也
		和歌山西	湯浅富夫
		和歌山北	山下茂男
		和歌山城南	堀邦夫
		和歌山アゼリア	信川昌通
		和歌山中	花岡直樹



カウンセラー補佐 会員の減少即ち寄付金の減少となっている。現在、奨学金の安定的な支援を図るため、米山奨学生の採用人数や支給金の減少を行なっている。

地区委員 奨学生選考にあたり、学業優秀ということで採用しているが、奨学金が本来の目的通りに利用されているかどうかということに問題のある部分がある。奨学生に、米山奨学金がいかんにして集められているかということなど十分に説明してきているのであるが、彼らに取っては、馬の耳に念仏という感がなきにしもあらずである。今後採用試験を厳しくする必要がある。奨学生対象に活動計画を作成し、米山記念会館の訪問ツアーや社会奉仕活動を行い、奨学生同士の繋がりを図っている。東京より各クラブにアンケート（卒業生達の現在の状況把握の為）の依頼があると思いますがご協力お願い致します。

和歌山RC 中国よりの留学生が大変多い。かつては評判も良くなかったが今回は良かった。成績のみでの選考方法は考え直すべきではないでしょうか。

和歌山南RC 日本で米山奨学生として目的達成した後、米山奨学の目的である、国際理解、国際社会への貢献がどうなっているかを含めて、卒業生達のその後の様子を知る必要があるのではないのでしょうか。

和歌山西RC 現在奨学生はありませし活発な活動は行っておりません。

- 和歌山城南RC** 奨学生のその後の様子は、比較的把握しております。
奨学生達は、日本在住時は、目的が達成できたと喜んでいるのですが、その後は目的が変わってしまっていることがあります。いろいろな事情があるとは思いますが、その後の様子もよく知っておくことも大事だと思います。本当に日本へ留学したいのかどうか、他に本当の志望があったが行けなかったからとりあえず日本にしたというような噂やとにかく外国に行きたかったというような噂も耳にしますが。
- 和歌山中RC** 留学生の選考を厳しくするという事はどういうことでしょうか。
地区委員 現在は、書類選考と面接のみで行っていますが、筆記も加え面接や書類の選考ももっと時間をかけて行うよう検討しております。
- 和歌山アゼリアRC** 現在ネパールの方を預っております。奨学金をどう使っているか聞いてみたいと思っております。
- 和歌山北RC** 現在1名預っており大変良い学生であります。かつては奨学金など必要がないのではないかと思われる学生もおりました。選考には日本に対する感情なども良く判定し、単に奨学金を利用するのみの学生などには厳しく判定する必要があると思います。
- 和歌山東南RC** 現在の奨学金は多すぎるのではないのでしょうか。支給金額を下げても広く浅く支給してはどうでしょうか。
- 和歌山東RC** 米山奨学金制度は、ロータリーの柱となる活動と判断し、1人年2万円の寄付金を年会費に割り込んで集めております。

第一部 事前会議 「ロータリー情報部門」

■ 出席者

ゼネラルリーダー	亀岡弘	和歌山	島村安昭
パストガバナー	平尾寧章	和歌山	東西本亨
ガバナーノミニー	村上有司	和歌山	南窪田惇巳
ガバナー補佐	岩橋重文	和歌山	東南和田達男
アドバイザー補佐	上野山英樹	和歌山	西坂上悟
委員長	西尾幸祐	和歌山	北森本芳宣
		和歌山	城南根岸憲一郎
		和歌山	アゼリア加納達之治
		和歌山	中中井俊治



西尾委員長 本日は改正になりました定款の説明を主に、クラブ細則の変更を含めてお話を進めたく思います。

今回の変更で重要なものが幾つかありますが、まず第一点は第5条に四大奉仕が日本の提案で採択されました。

第二点は第9条第5節の出席の記録の中で85才免除者以外の出席免除者の（入院等の）免除がみとめられなく、欠席となります。

第三点は第12条第4節の、クラブ例会出席率が60%～50%に変更になりました。他にもありますが重要な点は以上かと思われます。

定款の変更に伴いクラブ細則の変更をしていただく訳ですが、推奨細則に基づいて変更をする訳ですが、必ずしもその通りでなく各クラブの事情等をふまえて独自性を出していただきたく思います。

出来れば細則の変更については全員参加で考えていく様にいただければクラブの活性化につながっていくと思います。

南RC 85才以外の免除者のあつかいについてお願いします。

西尾委員長 85才の免除者以外の免除者は欠席となります。必然的に出席率は悪くなり、100%が少なくなります。

東RC 地区としてC.L.P(クラブリーダーシッププラン)の導入を考えておりますか。

西尾委員長 C.L.Pに関しては地区としては各クラブにこれを押しつけていく様なことをしないし、各クラブの独自性が大切と考えております。

第一部事前会議 「新会員の集い」

■ 出席者

ガバナー 平原 祥彰

副代表幹事 稲田 喜久



平原ガバナー 公式訪問はもう40クラブを回りました。一日3クラブを回りますと疲れます。私はなるべく合同でなく各クラブを回りたいです。各クラブは心から楽しめるクラブになるように努力してほしい、今楽しくないクラブが多いらしい。

SAA ロータリーに入会する前と今の気持ちは

南RC 入会するなりSAAを指名され、まだロータリーの事が理解出来ていない気がしました。自分の時間の許すかぎりいろいろな所（家族会、クリスマス会…）等に参加しているうちにロータリーの事が分かるのではないかと考えて参加しています。

北RC ロータリー用語が分かりにくいのでぼちぼち気楽にやりたい。

ガバナー 専門用語が多いので専門用語を使うと難しく感じるのを特に使わないようにしています。誰でも1回や2回やめようと思った事があるのでは。

亀岡ゼネラルリーダー ロータリーの事は何も知らなかったので石の上にも3年と言うからそれを通そうと思いましたが何回かやめようと思った、しかし青少年委員長をした時に子供達からライラに参加して良かったと喜んでくれたので自分も勉強する事によって好きになってきた。

ガバナー ロータリーは向こうから向かって来ない、こちらから向かって行かなければ。

- アゼリア** ロータリーの方々は時間があって恵まれている方ばかりではと
思っていました。が奉仕作業で草むしりをした時雨が降って来たにもか
かわらず先輩達が熱心にされていた姿をみて感動した。先輩の方
がロータリーについて見本をみせてほしい。
- ガバナー** 戦争中にロータリーの例会に憲兵がきて発言する事によっ
ては連行されて行かれた、今の会員だったらどうだろうか。昔はロー
タリーに入れて頂いた、今は入ってやったと言う感じ。
- SAA** 私のロータリーの夢は外国の子供たちに保証人になりたい夢を持
っています。ここで皆さんの趣味の一つだけお聞かせください。
ゴルフ、マージャン、登山、日曜百姓、お酒、ドライブ、読書、テ
ニス、昼寝、カラオケ、旅行、音楽鑑賞、お茶……
- ガバナー** ロータリーが趣味と言う人が有るかなあと思っていたが、何
か一生懸命にする事は幸せである。ロータリーを好きになって下さ
い。自分自身がロータリーの人がちがうと言われるように、自分
の事と人様の事を考えてゆくのはロータリーではないでしょうか。
- SAA** 個性をロータリーで伸ばして下さい。自分のクラブだけでなく
他のクラブの事を知る事が良い、これから皆さんも色々な事で
楽しむように。
- ガバナー** ぜひ国際大会に行きませんか？多くの友達が出来ます。
あなた良し、私良し、まわり良し。